

平成29年度  
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

## 目次

<b>I 現況</b> .....	<b>1</b>
1. 事業 .....	1
2. 役員 .....	1
3. 評議員.....	2
4. 事務局.....	2
5. 事業資金 .....	2
<b>II 理事会・評議員会</b> .....	<b>3</b>
1. 理事会.....	3
2. 評議員会 .....	3
<b>III 事業実施の概要</b> .....	<b>4</b>
1. 調査事業 .....	4
2. 保護事業 .....	4
3. 普及事業 .....	11
4. ネットワーク事業 .....	16
5. 団体交流事業 .....	16
<b>IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項</b> .....	<b>17</b>
<b>V 訃報</b> .....	<b>18</b>
参考 アドバイザー名簿、顧問名簿、参与名簿及び観光資源専門委員名簿.....	19

# I 現況

## 1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源（以下「保護対象」という。）の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

## 2. 役員

(1) 平成 30 年 3 月 31 日現在の役員

会長	梅崎 壽	東京地下鉄（株）顧問
代表理事		
副会長	川村 恒明	（公財）文化財建造物保存技術協会顧問
代表理事		
理事長	小山 正宣	常勤
業務執行理事		
理事	厚地 純夫	東海旅客鉄道（株）専務執行役員
理事	木部 義人	（公財）日本ナショナルトラスト関西支部長
理事	久保 成人	（公社）日本観光振興協会理事長
理事	栗田 亘	コラムニスト（元・朝日新聞社論説顧問）
理事	柴崎 信三	元・日本経済新聞社論説委員
理事	柴田 耕介	（株）コバック顧問
理事	志村 格	（一社）日本旅行業協会理事長
理事	杉田 房子	旅行作家
理事	杉山 篤史	前・（一社）日本民営鉄道協会理事長
理事	鈴木 雅和	筑波大学芸術系名誉教授
理事	武市 信彦	西日本旅客鉄道（株）執行役員東京本部副本部長
理事	日野 正夫	東日本旅客鉄道（株）常務取締役
理事	廻 洋子	敬愛大学教授
理事	森 まゆみ	作家
理事	山村 明義	東京地下鉄（株）代表取締役社長
理事	山村 晋一	（公財）日本交通公社理事

監事	今村 正	税理士
監事	山科 清一	(公財)鉄道弘済会専務理事

### 3. 評議員

(1) 平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員

評議員	大西 孝夫	元・(一財)休暇村協会理事長
評議員	黒野 匡彦	(一財)運輸総合研究所会長
評議員	曾我 健	(公財)NHK交響楽団名誉顧問
評議員	田川 博己	(株)JTB代表取締役会長
評議員	堤 哲	元・毎日新聞編集委員
評議員	伏屋 和彦	元・会計検査院長(元・国税庁長官)
評議員	松山 良一	(独)国際観光振興機構理事長
評議員	森地 茂	政策研究大学院大学政策研究センター所長

### 4. 事務局

平成 30 年 3 月 31 日現在の職員 5 名

### 5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄付金並びに個人および団体からの会費等による。

## Ⅱ 理事会・評議員会

### 1. 理事会

(1) 第1回理事会 平成29年5月25日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成28年度事業報告及び決算報告、顧問の選任、参与の選任、事務局長の任命について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席12名、欠席7名。監事出席2名。

(2) 第2回理事会 平成30年3月14日

開催場所 海事センタービル7階会議室

決議事項 平成30年度事業計画及び収支予算、平成29年度補助金等の交付申請、特定資産の取崩、定時評議員会の招集の件

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、平成30年度第1回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席10名、欠席9名。監事出席1名。

### 2. 評議員会

(1) 定時評議員会 平成29年6月14日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成28年度事業報告及び決算報告、理事の選任

報告事項 平成29年度事業計画及び収支予算、平成28年度第2回及び平成29年度第1回理事会の決議事項

出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席8名、欠席0名。同席理事2名、同席監事2名。

## Ⅲ 事業実施の概要

### 1. 調査事業

#### (1) 観光資源保護調査

- ・過去の調査地域(山梨県甲州市、愛知県津島市、長野県小諸市、福井県若狭町など)にヒアリングを行い、調査後のまちづくりの現状や課題について伺い情報交換をするなどフォローアップを行った。また会報誌「トラスト報」の「シリーズ～地域の魅力発信～」のコーナーで過去の調査地域の現状とその魅力について発信を行い、好評を得た。
- ・観光資源保護調査の活用実態とその後のまちづくりの展開に関する新潟大学との共同研究「地域遺産調査のまちづくり活動への展開に関する研究-ナショナルトラストによる観光資源保護調査に着目して-」が(公財)大林財団の助成金の採択を受けた。調査は平成30年度に実施し、地域遺産支援プログラムにも成果を活かしていく。

### 2. 保護事業

#### (1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

##### ①白川郷合掌造民家の修復と管理運営 (岐阜県白川村)

8月30日に白川郷荻町集落において守る会会長及び荻町区長、白川ボックス代表、役場担当者等と白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会を開催し、平成28年度の事業報告と平成29年度の事業計画について審議を行った。今年度も地域おこし協力隊の方が居住しながら茅葺き民家のさまざまな活用を考えるトライアル事業を継続して実施した。また、10月14日～15日には村で行われた「どぶろく祭り」の手伝いに職員が参加し、地元住民との交流を深めた。そのほか一昨年度に実施した白川郷合掌文化館(旧松井家)屋根葺きの様子をまとめたDVDを作成し、屋根葺き参加者に配布を行った。今後は一般への販売も行う。

《管理運営委員会》和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、大田忠広・JNT白川ボックス代表、和田茂・荻町区長、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、倉嘉宏・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、杉田房子・旅行作家(JNT理事)他

##### ②動態保存車両(トラストトレイン)の運行と修繕 (静岡県大井川鐵道)

4月～9月にかけて全5回のトラストトレインの運行を無事に終了した。8月19日は、次世代を担う子供たちが興味を持ってトラストトレインと触れ合う機会を作るため親子ボランティアを実施し、26名の参加があった。親子ボランティアでは、車内アナウンス体験やクイズ大会などを行い、好評を博した。蒸気機関車C12の動態復元については、引き続き大井川鐵道株式会社と調整を行っている。12月2～3日には、ボランティアでスハフ客車の内装塗装作業や安全講習を実施した。2月14日に大井川鐵道株式会社と運営会議を開催し、平成29年度の活動報告と平成30年度の活動計画等について協議を行った。

<運転日>4月15日(8名)、6月10日(13名)、7月1日(5名)、8月19日(26名)、  
9月30日(6名)※8月19日は親子ボランティア

##### ③名勝旧大乘院庭園保存整備と管理事業 (奈良県奈良市)

6月7日に保護管理委員会を開催し、昨年度の事業報告および本年度計画についての審議を行った。また、同日に管理協議会を開催し、管理や保存修理事業の報告および計画について協議を行った。平成28年度から2カ年計画で、名勝旧大乘院庭園保護管理委員会の指導のもと、保存整備を国庫補助事業として実施した。本年度は、昨年度整備を行った園路の一般公開を7月から開始した。また、植栽の整備、中島反橋の架け替え、水質維持のためのポンプ設備の更新、標識の設置などを実施し、その成果を整備報告書として刊行した。標識は、奈良市の尽力により興福寺多川貫首から標識文字の揮毫を受けた。2月18日には完成記念式典を開催し、貫首、文化庁、奈良副市長、JR西大阪支社長、奈良文化財研究所所長らが出席した。そのほか、利用動向の把握やモニタリングのために来園者アンケートを実施した。アンケートを活用し、今後の来園者増に向け対策を行っていく。また、園池管理については、年間を通じて概ね良好な状態を維持した。公開については、隣接するヘリテージセンター名勝大乘院庭園文化館での音楽会や講演会等の企画の効果もあり、堅調を維持した。恒例の「観月の夕べ」を仲秋の名月に合わせ10月4日に実施し、荒天にもかかわらず212人が来場した。3月には「旧大乘院庭園から出土した雪駄の尻鉄」をテーマに文化サロンが開催されJNTが後援を行った。また、「なら燈火会」「珠光茶会」「ならムジークフェスト」などの受け入れなど公的な行事の受け入れや「関西文化の日」のイベントへの参画など積極的に入園者増加に向けての取り組みを行った。

《保護管理委員会》尼崎博正・京都造形芸術大学教授（当財団観光資源専門委員）、松村恵司・奈良文化財研究所所長 他

\* 入園者数 10,813名（公開日数305日）、 ロケーション利用等26件

\* 国庫補助事業

#### ④ 東京都名勝旧安田楠雄邸庭園の修理・修繕と管理活用事業（東京都文京区）

5月26日に第6回保護管理委員会を開催し、平成28年度の事業報告および平成29年度の事業計画について承認が得られた。平成29年度の事業計画においては、耐震目標および補強方法の方針を含んだ耐震事業計画についても審議し、承認が得られた。10月25日に第5回構造補強検討会を開催し、実施設計の中間報告を行い、工事内容の詳細について協議した。平成30年度は事業者の選定・工事の実施とあわせて、避難誘導などのソフト対策も検討を行う。7月から「旧安田楠雄邸耐震補強募金計画書」を作成し、個人・法人に対し、協力を要請している。3月末時点での募金金額は、個人3,025,039円、法人5,700,000円であった。庭園は、定期剪定を実施し、良好な状態の維持に努めた。管理活用事業においては、活用ワーキング会議を月に1回開催し、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会（通称：たてもの応援団）や専門家と協議を図りながら五節句行事等の各種イベントの実施や撮影等の貸館対応など適正な活用にも努めた。また、東京文化財ウィークへの参加や「東京の日本庭園おもてなし協議会」（事務局：東京都建設局）による東京いい庭キャンペーンへの参画など自治体による文化的活動にも協力するとともに様々な主体と連携し、取り組みを実施した。そのほか、旧安田楠雄邸庭園への寄付について、文京区より「条例指定寄附金」として認められ、1月1日より、1月1日から12月31日までに行った寄附金について区民税の寄附金控除の対象になった。さらに、旧安田楠雄邸庭園が東京都景観条例における特に景観

上重要な歴史的建造物等に選定された。これにより、周辺の建築行為等に対して、旧安田楠雄邸庭園への配慮が促される。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授（JNT 観光資源専門委員）、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授 他

\* 一般公開 6,809 名（公開日数 108 日）、貸館・団体見学・映像・写真撮影等 19 件

#### ⑤京都市指定文化財駒井家住宅の修復と管理活用事業（京都府京都市）

4月26日に保護管理委員会を開催し、平成28年度の事業報告と平成29年度の事業計画について審議を行い、承認が得られた。修復事業については、今後の駒井家住宅のメイン事業となる台所の復元や温室・離れの活用に向けて、駒井家住宅の中・長期的な運営の指針となる保存活用計画の策定準備を行った。また、その一環として付属屋、離れ、温室の実測調査と庭園調査を行った。計画の基礎資料作成のために実施したこれらの調査では、それぞれの特徴や価値が明らかになり、保存活用計画に反映するとともに今後の駒井家の活用に活かしていく。庭園の管理については、京都造形芸術大学尼崎博正教授の指導のもと引き続き定期剪定と同大学の庭園実習の受け入れを継続した。公開・活用等については、12月2日に駒井家住宅90年祭として秋の特別公開を開催、建物見学会やミニコンサートを行った。また、庭園を無料開放し、カフェスペースの設置とお菓子やリースなどの寄付付きの物販を行った（当日の収益は必要経費を除き駒井家住宅の維持修復協力金として寄付）。ボランティアの豊かな発想を活かし、多くの協力者を得て実現した企画であり、これまでになかった。そのほか、7月26日～8月21日の期間、JR西日本が企画する「京の夏の旅」に関連し、京都駅で京都駅ビル開発(株)・西日本旅客鉄道(株)主催のパネル展「京の近代建築ウォッチング&第42回京の夏の旅」が開催され、駒井家住宅が紹介された。10月29日には、日本音楽学会第68回全国大会パネル企画として、パネルディスカッション「日本の洋楽受容史におけるアメリカーヴォーリズ建築の駒井家住宅(京都)をめぐる音楽空間から—」が開催され、JNTが協賛した。

《保護管理委員会》三村浩史・京都大学名誉教授（当財団観光資源専門委員）、尼崎博正・京都造形芸術大学教授（当財団観光資源専門委員）、山形政昭・大阪芸術大学教授、松井正文・京都大学名誉教授 他

\* 京都市補助事業

\* 一般公開 1,926 名（公開日数 80 日）、貸館・団体見学・映像・写真撮影等 40 件

#### ⑥旧モーガン邸の管理事業（神奈川県藤沢市）

適切な安全管理及び地域活性化の観点から、平成23年度から実施しているJNTと特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会による活用試行を今年度も継続的に実施した。9月10日に開催され、恒例となった旧モーガン邸募金コンサートには、JNTが後援を行った。月1回の庭園公開とイベントを実施しており、今年度も順調に推移した。日常の維持管理については、守る会との管理委託契約に基づき、1ヶ月に1回の清掃ボランティア活動を継続的に実施した。また、(一社)日本建設業連合会の社会貢献活動の一環である庭園清掃ボランティア活動の受け入れを行った。旧モーガン邸の今後のあり方については、藤沢市・守る会・JNT



の三者で協議を継続してきたが、交渉が難航しており、守る会側から他の公益法人等を事業主体とする案の可能性について提案があった。8月17日にJNT、藤沢市、旧モーガン邸を守る会、旧モーガン邸移譲先候補である(公社)横浜歴史資産調査会で会議を開催し、その後も4者での協議を継続している。10月から、旧モーガン邸を守る会、(公社)横浜歴史資産調査会、有識者で整備や活用方法について検討を行う旧モーガン邸復元再生検討委員会が開催された。3月9日には(公社)横浜歴史資産調査会から藤沢市及びJNTあてに事業計画を含めた旧モーガン邸復元再生検討委員会の報告書の提出があった。今後は事業計画の内容について調整を行っていく。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授（JNT 観光資源専門委員）、吉田鋼市・横浜国立大学名誉教授、亀山章・東京農工大学名誉教授、大野敏・横浜国立大学教授、水沼淑子・関東学院大学教授、菅孝能・山手総合計画研究所代表取締役、他

#### ⑦文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、各保護資産においてさらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

### (2) その他の保護事業

#### ①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理（茨城県北茨城市）

天心遺跡記念公園においては、定期的な除草、清掃作業を行った。また、筆塚周辺の竹垣作りと中央記念碑周辺のロープ補修を行った。天心墓地では、除草作業と月2回の点検と供花を行った。園内及び墓地は十分に整備され、美しい姿となっている。周辺の実心関連施設と連携を図りながら公開事業を促進した。また、10月5日～11月5日に開催された観月会2017に後援を行った。3月20日に北茨城市役所会議室において、第12回天心遺跡記念公園及び天心墓地保護管理委員会を開催し、協議と情報共有を行った。また、天心遺跡記念公園内には松枯れの被害を受けた樹木が多数あったため、北茨城市の協力を得て、被害樹木の伐採を実施した。当財団の所有地が茨城市の地籍調査の対象となり、平成28年9月から測量などの調査が行われていたが、平成30年2月に地籍調査が終了したため、職員が現地で立会いし、調査の結果を確認、地図の閲覧を行い、調査結果に相違がないことを確認し、土地表示の異動について同意した。

《保護管理委員会》豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学教授、猪瀬幸己・茨城県立天心記念五浦美術館館長 他

\* 北茨城市補助事業

#### ②ED70形1号交流電気機関車の保護管理（滋賀県長浜市）

西日本旅客鉄道(株)寄贈のED70形1号交流電気機関車について長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。また、平成22年度からジェイアール西日本商事(株)により商品化された「ED70-1 ナンバープレート」については引き続き、連携して販売・普及に努めた。

### ③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

景観保全活動として、8月19日～22日まで、ボランティアによる植生復元のための採種、追播種や登山道の整備、池塘復元等を実施した。

活動実施日 夏季活動：8月19日から22日

参加者総計 12名

### ④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

東日本大震災で被災した自然・文化遺産について、地域（まち）の“シンボル”でありながら、国や地方公共団体による支援の及びにくいものの復旧・復興を支援する「SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト～」を引き続き推進した。第四次支援事業のうち、全体の都市計画等との調整や施工業者の確保が困難なため、事業延長されていた「気仙沼風待ち地区の国登録有形文化財群 三事堂ささき木店舗」（申請者：（一社）気仙沼風待ち復興検討会）の事業が2月末に完了した。さらに、未曾有の大災害を風化させることなく、復興が新たな段階を迎えるためにも、今だからこそ必要な支援があると考え、第五次支援事業対象遺産の公募を開始した。今回は原発被害で復興が遅れていた福島からの応募が多く見られた。（12件中8件）募金については、呼びかけを継続するとともに（株）ジェイアール西日本ホテル開発が所有する各ホテルで、プロジェクトへの募金を組み込んだ宿泊プラン等の販売を継続していただいた。

#### （ア）イベント等の実施・参加

- ・支援対象見学会「東日本大震災復興応援見学会 in 気仙沼」開催

第四次支援対象である「気仙沼風待ち地区の国登録有形文化財群」の三事堂ささき木店舗の修復完成を機に、寄付者、会員を対象とした見学会を開催した。見学会に先立ち、（一社）気仙沼風待ち復興検討会が風待ち地区の復興状況、JNTが東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの報告を行った。（参加者22名）

日時：平成30年2月24日

主催：民家・町並みサークル、公益財団法人日本ナショナルトラスト

協力：（一社）気仙沼風待ち復興検討会、気仙沼市教育委員会

- ・「郷土芸能復興支援メッセ in 釜石」への参加

被災した郷土芸能団体のこれまでの歩みと現在の課題や自然災害などによる存続の危機に対応するための情報などを共有することを目的として開催されるイベントに参加した。ブースを設け、これまでの活動をPRするとともに2日目にはJNT担当が助成についての相談などに応じた。

日時：2月24日・25日

会場：釜石市民ホール TETTO

主催：国立民族学博物館

#### （イ）助成事業の状況

1月10日…第五支援事業募集開始

3月20日…第五次支援事業募集締め切り

※12 件の申請があった。(有形文化財・記念物 8 件、無形民俗 4 件)

(ウ)パートナー事業の状況

・パートナー事業「尾形家修復保存プロジェクト」

平成 29 年 3 月末で気仙沼尾形家修復保存会とのパートナー協定が終了したため、今後の方針について 9 月 1 日に所有者、気仙沼尾形家修復保存会、JNT、気仙沼市の 4 者で協議を行った。

(エ) 募金の状況

本年度は、法人 63,650 円、個人 221,489 円、パートナー事業 24,000 円、合計 309,139 円の募金が寄せられた。(平成 30 年 3 月末累計 68,139,909 円)

(3) ヘリテイジセンターの管理運営

①葛城の道歴史文化館の管理運営 (奈良県御所市)

葛城の道散策マップや街道の神社・仏閣に関する資料、伝統行事の写真などが展示されており、葛城古道を散策するための情報拠点となっている。また、館内には休憩所とともに、集会所を備え、住民と来訪者が交流し、歴史を活かしたまちづくりや歴史環境の保全について考える場としても活用されている。今年度は、4 月 16 日から 30 日までの期間、桑原正明個展「萌え出づる春ー葛城の春の訪れを描くー」と 6 月 29 日からかづらき煌ネットワークによる写真展「葛城景観資産」が開催されている。(入館者数 10,291 名)

②飛騨の匠文化館の管理運営 (岐阜県飛騨市)

飛騨の匠文化館は、国内の見学だけでなく海外との交流が活発である。2 月上旬から 12 月下旬まで、飛騨古川と親交のある台湾桃園市大溪の木工博物館において、飛騨古川の千鳥格子の体験コーナーが設置され、現地で好評を得るとともに、海外の複数の大学が参加する「デザインキャンプ Smart Craft Studio2017」(5 月 28 日～6 月 19 日)および日本プロジェクト産業協議会の「林業復活・地域創生を推進する国民会議」(11 月 6 日)が飛騨古川を合宿訪問し、その一環として匠文化館の見学を行った。そのほかの活動として、ネクタイピンなど木を加工した千鳥格子のアクセサリ開発や雑誌やテレビ取材などの広報活動も積極的に行っている。このように、拡充した展示コーナーや体験コーナー等を活用しながら、飛騨の匠の技を体感できる場として、また歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。(入館者数 6,376 名)

③白川郷合掌文化館(旧松井家)の管理運営 (岐阜県白川村)

管理運営については安定した体制での管理を目的に、白川村在住の JNT 会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結しており、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施した。6 月 27 日には白川ボックス総会を開催し、あわせて清掃作業を実施して 8 月 1 日～8 月 31 日に夏季開館を行った。

(入館者数約 1,100 名) ※8 月の 5 日間の入館者数

④名勝大乘院庭園文化館の管理運営（奈良県奈良市）

フルートコンサートや庭園講座等を実施したほか、庭園との共催で仲秋の名月に合わせた「観月の夕べ」を10月4日に実施し、お茶席を設け好評を得た。また、恒例となった「なら燈花会」に併せた演奏会（8月11、12日）や珠光茶会（2月10日、11日）など、地域と連携することで奈良での大きな観光イベントの会場にも利用された。

（入館者数 45,444名）

⑤長浜鉄道文化館の管理運営（滋賀県長浜市）

長浜市および(公社)長浜観光協会により、10月初旬から12月末の期間は鉄道写真展、10月21日～12月28日は「今に生きる歴史的駅舎写真展」が開催されるなど、積極的な活用が図られた。また、夏季には企画展として「おもちゃ鉄道と遊覧鉄道展」（7月5日～9月30日）が開催され、年間を通じて長浜の鉄道史を紹介するなど、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。（入館者数 48,299名）※長浜スクエアとしての入館者数

⑥琴引浜鳴き砂文化館の管理運営（京都府京丹後市）

日本や世界の鳴き砂の展示や世界各地からの漂着物などの常設展示のほか、地元地区と連携して数多くのエコツアー、ガイドウォークを実施し、地域の魅力を発信した。貝殻を使ったクラフト体験なども人気を博し、収益に貢献した。また、親子を対象としたアブラゼミ羽化観察会（7月23日）、琴引浜自然教室（8月に全3回開催）などのほか、市内全小学校6年生児童の特別授業として大地の学習（9～10月の全23回）が開催され、地元の子供たちの学習の場として活用された。そのほか、“あなたが拾ったゴミが入場券”という恒例の環境啓発イベント「はだしのコンサート」を6月4日に開催し、地元高校生が制作したゴミアートなども展示され、好評を得た。整備については、2階西側のベランダ部分について部材の腐朽など劣化が進んでおり、部材の取り換え工事等を実施した。

（入館者数 11,705名）

⑦北陸線電化記念館の管理運営（滋賀県長浜市）

D51形蒸気機関車とED70形1号交流電気機関車を通年内部公開するとともに、交流電化の歴史資料等のパネルを展示した。車輛レイアウト（Nゲージなど）展示を行い、旧長浜駅舎および長浜鉄道文化館と一体となった企画、運営を行った。そのほか、9月下旬～10月中旬にかけて、特別展示「ちびっこぬり絵展」が開催された。

（入館者数 48,299名）※長浜スクエアとしての入館者

⑧村上歴史文化館の管理運営（新潟県村上市）

市内遺跡のうち奈良・平安時代を中心とした出土品の展示「市内遺跡出土品展～奈良・平安時代の村上～」(12月1日～2月25日)や、恒例となった「城下町村上に伝わるひな人形展」等が開催され、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。

（入館者数 18,148名）

⑨四国鉄道文化館の管理運営（愛媛県西条市）

近年新たに建設された四国鉄道文化館南館と十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJO」として、地域の賑わいの拠点となっている。今年度は、鉄道歴史パーク in SAIJO 開館 10 周年記念 with JR 四国発足 30 周年記念イベントとして、11 月 23 日、25 日、26 日に「伊予西条鉄道フェスタ 2017」が開催された。鉄道フェスタでは、機関士体験などの子供向け企画や講演会、コンサート、特別展示が行われ盛況であった。そのうち 23 日に開催された 10 周年記念シンポジウム「四国新幹線の早期実現に向けて～十河信二先生ゆかりのまちから～」と、10 周年記念関連事業で 3 月 25 日に開催されたミュージカル「走れ！夢の新幹線～キクとシンジの物語～」に JNT が後援を行った。(入館者数 53,895 名)

⑩各ヘリテイジセンター間の連携

3 回目となる「ヘリテイジセンター関係者会議」を 2 月に開催した。地域資源を活かしたまちづくりの拠点としてのヘリテイジセンターの機能を高め、地域活性化に寄与できるよう課題を共有し、活発な意見交換を行った。

日 時：2 月 5 日

場 所：名勝大乘院庭園文化館

出席者：飛驒の匠文化館、名勝大乘院庭園文化館、琴引浜鳴き砂文化館、四国鉄道文化館及び小山理事長、木部関西支部長

### 3. 普及事業

(1) 会員事業

①見学会・催し物等の開催

(ア) トラストトレイン

- ・トラストトレイン運行及びボランティア参加者数

4 月 15 日(8 名)、6 月 10 日(13 名)、7 月 1 日(5 名)、8 月 19 日(26 名)、9 月 30 日(6 名)※8 月 19 日は親子ボランティア

- ・車内塗りボランティア活動

12 月 2 日～3 日 (9 名)

(イ) 旧安田楠雄邸庭園

- ・主催イベント

4 月 1 日 . . . . . しだれ桜と琵琶の夕べ

4 月 12 日 . . . . . 防空壕公開

5 月 3 日～7 日 . . . . . 端午の節句 五月飾り

6 月 3 日 . . . . . 福楽寄席

7 月 1 日、5 日 . . . . . 七夕の節句

7 月 8 日 . . . . . 新内節の夕べ

8 月 5 日 . . . . . 防空壕公開

9 月の公開日 . . . . . 北村四海作 大理石彫刻公開

9 月 30 日 . . . . . 語りと音楽

10 月 11 日、14 日、18 日、21 日 . . . 重陽の節句

1月6日・・・・・・・・・・・・・・・・人日の節句

・協カイベント

<東京文化財ウィーク参加企画>「写真で見る昭和の干駄木界限」

11月1日～11月5日連続公開および11月8日～11月29日の公開日

となりの高村さん展第2弾として高村規(たかむらただし)写真展を開催、11月3日には高村規氏ご子息の達(とおる)氏講演会を開催

<いい庭キャンペーン>

11月11日～12月3日の公開日(園路開放は水曜日のみ)

東京都建設局が事務局を務める「東京の日本庭園おもてなし協議会」が実施するいい庭キャンペーンに参加

(ウ) 駒井家住宅

3月31日～4月9日・・・・・・・・春の連続公開(さくら)

4月28日～5月7日・・・・・・・・春の連続公開(さつき)

12月2日・・・・・・・・秋の特別展示(駒井家住宅90年祭)

②会員活動の支援

会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア) 地域活動

白川ボックス／ヘリテージセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理

4月17日・・・・・・・・雪囲いはずし

6月27日・・・・・・・・総会

7月27日・・・・・・・・清掃

8月1日～8月31日・・・・・・夏季開館

11月22日・・・・・・雪囲い

1月～2月・・・・・・雪降ろし

(イ) サークル活動

・民家・町並みサークル／ 総会、見学会、講演会、サークルニュース発行等

4月29日～30日・見学会「長野県東御 東町歌舞伎と祢津界限訪ね歩き」

7月1日・・・・・・・・総会

7月9日・・・・・・・・見学会

「江戸が息づく土浦 水戸街道真鍋宿 看板建築の石岡」

10月21日・・・・・・・・見学会「重要文化財馬場家住宅から奈良井宿へ」

1月13日・・・・・・見学会「松戸」

2月24日・・・・・・見学会「東日本大震災復興応援見学会 in 気仙沼」

(民家・町並みサークル×JNT 共同企画)

③会員増加キャンペーンの継続

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーンを行った。

(ア) 初年度会費無料キャンペーン

12月1日から3月31日までに入会した方を対象として初年度会費及び入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(イ) プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRした。

(2) 広報事業

①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布（隔月刊）

年間6回の発行で紙面の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁（523号は20頁） <発行部数>3,000部 <通巻>519号～524号

519号(5月1日発行) 特集「会員の集い『地域とともに』開催」

520号(7月1日発行) 特集「今年のしごと」

521号(9月1日発行) 特集「気仙沼・尾形家住宅修復保存プロジェクトの活動」

522号(11月1日発行) 特集「旧安田楠雄邸耐震募金はじまる」

523号(1月1日発行) 特集「トラストトレイン30周年」

524号(3月1日発行) 特集「よみがえれ！！巻機山の自然 40年の軌跡」

②メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

月2回程度のメールマガジンを配信し、会員および事業協力者へのタイムリーな情報発信を図るほか、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。（登録者数 約400名）

③広報宣伝活動の強化

(ア)「学生観光論文コンテスト」の実施

(一財)日本ホテル教育センターとの共催により第7回学生観光論文コンテストを実施。1月18日審査委員会がおこなわれ、76編の応募の中から厳正なる審査の結果、下記の通り決定した。また、2月20日に第46回国際ホテル・レストラン・ショー(東京ビッグサイト)会場内にて表彰式が執り行われ、横浜国立大学 経営学部3年 丹野百絵他3名に対し「公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞」を授与した。

・優秀賞【(公財)日本ナショナルトラスト会長賞】

横浜国立大学 経営学部3年 丹野百絵(たんの ももえ、代表)・甲斐安浩・鴨志田直紀・山本章郎、テーマB『古民家を活用した観光まちづくりのあり方』

・優秀賞【(一社)全日本シティホテル連盟会長賞】

駒澤大学 経済学部番場ゼミナール3年 田中由香(たなか ゆか、代表)・及川侑香・倉品果歩、テーマC『複数都市協力型MICE開催による日本のMICE競争力の向上～主要都市MICEに対抗するための地方都市MICEの在り方～』

・審査委員特別賞

同志社大学 商学部西村幸子ゼミ3年 高木颯希(たかぎ さつき、代表)・西本匠・杉原朝香・仲島礼哉、テーマA『アニメ聖地巡礼を活性化させるためのモデルプランの提案 ～世界が訪れたい観光立国、日本を目指して～』

(イ)「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」に参加

東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」において、9月23日に社会貢献ブースをお借りし、(一社)日本旅行業協会の協力のもと当財団のPR活動を実施した。多くの来場者に広く JNT 活動への理解と協力を呼びかけた。

(ウ)「メトロファミリーパーク in AYASE」に参加

11月12日、東京メトロおよび(公財)メトロ文化財団のご協力で綾瀬車両基地で行われた車両基地イベント「メトロファミリーパーク in AYASE」に参画し、JNTのPR活動を行った。

(エ) 関係団体の広報協力

旧安田楠雄邸庭園について JR 東日本の各媒体において継続的に取り上げていただいている。東京メトロでも駅の「地域ポケット利用」等の広報協力をいただいているほか、地下鉄博物館(東京都江戸川区)に JNT とトラストトレインのパンフレット及びトラストトレインの維持修復を呼び掛ける募金箱を設置していただいている。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR 西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、保護資産及びプロジェクトを通じ、広く本財団の紹介を行っていただいた。JR 東海と JR 西日本のご協力により新幹線搭載誌「ひととき」に定期的に当財団の PR ページを提供いただき、大きな効果があった。さらに(公社)日本観光振興協会をはじめとする観光関係団体のメールマガジンや HP でも、JNT のイベント情報を発信するなどの広報協力をいただいている。

(3) その他普及事業

①地域遺産支援プログラムの実施

事業のコンセプト等を検討するワーキングを立ち上げ、外部からの協力を得て、様々な検討を行っている。モデル事業として、白川村と協働で茅刈りを行う「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト～秋の一斉茅刈り～」を平成27年度から実施している。企画内容は白川村に関心のある東京の若手で「かややね会議」を開催し検討を重ねた。11月11日の茅刈りには、一般参加者および村内参加者約90名の事前申込があったが、当日は雨天となり、見学ツアーと、かややね会議で企画した茅染め体験を実施した。村内でも茅刈りに対する意識が高まり、茅刈り写真展の開催、かややね会議 in 白川郷の開催などの展開を見せている。地域遺産支援プログラムのモデル事業として行っている茅刈りは今年度で3回目となり、今後も当プロジェクトを進めながら、他地域でのモデル事業も検討している。

②「平成29年度 会員の集い」の開催

2月4日、奈良ホテル及び名勝大乘院庭園文化館を会場に会員の集いを開催した。「これまでの活動から見た JNT の役割」をテーマに、名勝大乘院庭園文化館と駒井家住宅が取り組みの報告を行い、JNT 事業をより深くご理解いただく機会となった。さらに会の終了後には立食形式で交流会を行い、会員相互の交流を促進した。開催にあわせて、駒井家住宅と奈良ホテル、名勝大乘院庭園文化館の見学会、奈良町散策も実施し、地域を巻き込んだ開催となっ



た。会場には募金箱を設置し、協力を呼びかけた。この時に回収したアンケートの集計結果は、平成 30 年 5 月発行の「日本ナショナルトラスト報」に同封し、会員及び関係各所に広く配布した。

<日時> 2 月 4 日

<会場> 奈良ホテル 及び名勝大乘院庭園文化館

<参加者数> 約 50 名

### ③永年会員顕彰

入会 10 周年、20 周年、30 周年、40 周年を迎える会員に対し、感謝状と記念バッジを贈呈した。贈呈式は、「会員の集い」の中で執り行った。

### ④会員サービスの拡充

会員優待施設の増加など会員サービスの充実に取り組んでいる。JNT と認定特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会が 9 月 1 日からプロパティ相互入場割引協定を再締結し、これにより JNT 会員証提示でヴォーリズ六甲山荘(兵庫県神戸市灘区)の入場割引が適用されることとなった。また、新たに名勝大乘院庭園文化館の会員優待が追加となり、貸室について JNT 会員は無料となった。また、3 月から名勝旧大乘院庭園に入園された会員に対し、反橋等完成記念ポストカードの配布を行っている。

### ⑤各種シンポジウムなどイベントの開催

各保護資産およびヘリテイジセンターにおいて前述の通りのイベントを開催した。

### ⑥他団体主催イベント等への後援

- ・第 66 回日本観光ポスターコンクール

主催：(公財)日本観光振興協会

後援名義期間：平成 29 年 10 月末～平成 30 年 11 月末

- ・第 4 回全国風穴サミット in 信州小諸

主催：第 4 回全国風穴サミット in 信州小諸実行委員会

後援名義期間 平成 29 年 5 月 2 日～9 月 3 日

- ・第 9 回 柳都新潟・古町花街イベント「まちを未来へ～防災と景観保全を考える～」

主催：古町花街の会、新潟三業協同組合、新潟大学都市計画研究室

後援名義期間：4 月 20 日～6 月 17 日

### ⑦講師の派遣

10 月 21 日～22 日に開催された「全国鳴き砂サミット in 琴引浜～鳴砂を活用したまちづくり」で、職員が「観光と鳴砂」をテーマに発表を行った。また、11 月 3 日福島県南会津町の水引地区において NPO 法人いろりが主催する水引茅刈りツアーの「いろり端会議」で、職員が白川村の茅刈りについて事例発表を行った。

### ⑧ウェブサイトのリニューアル

昨年度に全面リニューアルしたウェブサイトを積極的に活用し、会員や JNT に関心のある層への情報発信に努めた。特に新規に立ち上げた公式 Facebook を活かし、JNT 各担当が現地の情報を親しみやすく、かつきめ細やかに情報発信を行っており、会員にも好評である。

#### 4. ネットワーク事業

##### (1) 「全国鳴砂ネットワーク」への参加

京丹後市琴引浜鳴き砂文化館他において開催された総会及び「全国鳴き砂サミット in 琴引浜～鳴砂を活用したまちづくり」に職員が出席した。

<会期> 10月21日～22日

<会場> 京都府京丹後市

##### (2) 「全国近代化遺産活用連絡協議会」への参加

桑名市で開催された総会及びフォーラムに職員が出席した。

<会期> 7月26日～28日

<会場> 三重県桑名市

##### (3) 「(一社)日本茅葺き文化協会」への参加

会員として参画し、協力を継続している。

##### (4) 「湘南邸宅文化ネットワーク協議会」への参加

会員として参画し、協力を継続している。

##### (5) 「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」への参加

熊本市で開催された総会及び交流会に職員が出席した。

<会期>6月3日～4日

<会場> 熊本県軽井沢市

#### 5. 団体交流事業

文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナルトラストをはじめとする環境保全団体等と交流を行い、情報収集に努めた。

##### (1) 国内交流事業

###### ①国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

###### (ア) 文化財指定庭園保護協議会

浜松市で開催された総会及びシンポジウムに職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

<会期>6月22日～23日

<会場> 静岡県浜松市

###### (イ) 全国町並みゼミ

有松で開催された総会に職員が出席し、情報交換と交流に努めた。また、開催にあたっては JNT が後援を行った。

<会期>11月17日～19日

<会場>愛知県名古屋市

(ウ) 全国伝統的建造物群保存地区協議会

桜川市で開催された総会及び研修会に職員が出席し、情報交換と交流に努めた。

<会期>5月24日～25日

<会場>茨城県桜川市

②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(社)日本観光振興協会、(一社)日本茅葺き文化協会、(公財)日本交通公社、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会、一水会(観光関係団体懇談会)、京都市内博物館施設連絡協議会、文化財保存全国協議会、文化財指定庭園保護協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

(2) 国際交流事業

①海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナルトラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を努めた。

<交流を図っている団体>

英国ナショナルトラスト(名誉会員)

英国シビックトラスト(正会員)

米国ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナルトラスト

(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベス二世ナショナルトラスト

(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

## IV 登記事項、届出・報告・申請事項

### 1. 登記事項

平成29年6月21日

- ・中村達朗理事、春名幸一理事の退任、志村格理事、武市信彦理事、村田健一理事の就任(平成29年6月14日付)

平成30年3月19日

- ・村田健一理事死亡(平成30年1月2日付)

## 2. 届出・報告・申請事項

平成 29 年 6 月 30 日

- ・ 事業報告等の提出（内閣府）

平成 29 年 7 月 4 日

- ・ 理事変更届出（内閣府）

平成 29 年 10 月 6 日

- ・ 税額控除に係る証明申請（平成 29 年 11 月 8 日付証明書交付）

平成 30 年 3 月 29 日

- ・ 理事の変更届出（内閣府）

平成 30 年 3 月 29 日

- ・ 事業計画書等の提出（内閣府）

## V 訃報

理事 村田 健一様が平成 30 年 1 月 2 日に逝去（享年 62 歳）

## 参考

### アドバイザー名簿（平成30年3月31日現在）

アドバイザー 大塚 陸毅 東日本旅客鉄道（株）相談役

以上1名

### 顧問名簿（平成30年3月31日現在）

顧問	石原 進	九州旅客鉄道（株）相談役
顧問	石渡 恒夫	京浜急行電鉄（株）取締役会長
顧問	泉 雅文	四国旅客鉄道（株）取締役会長
顧問	大須賀 頼彦	小田急電鉄（株）取締役相談役
顧問	大橋 洋治	ANA ホールディングス（株）相談役
顧問	奥 義光	東京地下鉄（株）取締役相談役
顧問	尾関 宗園	大徳寺大仙院閑栖
顧問	門脇 邦彦	日本空港ビルディング（株）名誉会長
顧問	小山 薫堂	放送作家
顧問	佐々木 隆之	西日本旅客鉄道（株）取締役相談役
顧問	須田 寛	東海旅客鉄道（株）相談役
顧問	須田 征男	北海道旅客鉄道（株）代表取締役会長
顧問	清野 智	東日本旅客鉄道（株）取締役会長
顧問	筒居 博司	前・（公財）日本ナショナルトラスト理事長
顧問	夏目 誠	成田国際空港（株）代表取締役社長
顧問	根津 嘉澄	東武鉄道（株）取締役社長
顧問	伏見 勝	元・報知新聞社最高顧問
顧問	MARI CHRISTINE	異文化コミュニケーター
顧問	宮田 亮平	文化庁長官
顧問	村田 光平	元・駐スイス大使
顧問	山本 亜土	名古屋鉄道（株）代表取締役会長

以上21名

### 参与名簿（平成30年3月31日現在）

参与 木戸 寛孝 世界連邦21世紀フォーラム理事長

以上1名

### 観光資源専門委員名簿（平成30年3月31日現在）

観光資源専門委員	尼崎 博正	京都造形芸術大学教授
〃	井手 久登	東京大学名誉教授
	河東 義之	小山工業高等専門学校名誉教授
〃	大塚 初重	明治大学名誉教授
〃	西村 幸夫	神戸芸術工科大学教授

〃 三隅 治雄 東京文化財研究所名誉研究員  
〃 三村 浩史 京都大学名誉教授  
〃 宮脇 昭 横浜国立大学名誉教授

以上 8 名